

# コストテーブル作成・活用の体験セミナー

— 誰でも早く・簡単に作れて、多用途に使える  
統計分析によるコストテーブル —

特にご参加  
いただきたい方

設計部門、設計管理部門、商品企画部門、調達・購買部門、  
原価企画部門、営業部門の方々。

本セミナーに  
参加すると…

1. 統計分析によるコストテーブル作成の手順がわかります(体験できます)。

2. コストテーブルの多くの用途とその活用手順がわかります。

1) 物差しとしての標準コストの把握

4) 対象部品群での割安部品・割高部品の判定

2) 新規部品・製品の目標コスト設定時の参考

5) 対象商品群での部品共通化検討の参考情報

3) 新規部品のコスト推定・シミュレーション

## メッセージ

我々は体温計や血圧計、体重計などを使って日々の健康管理に努めています。同様に企業活動でも収益の重要な要素であるコストを測る物差し(コストテーブル)の構築・活用は必要不可欠です。商品の電子化やグローバル調達が進む現在、従来型の積み上げ方式のコストテーブルでは容易性、迅速性などの点で難があります。このセミナーでは統計分析によるコストテーブルを推奨し、その作り方と活用方法を体験することで、特徴である容易性、迅速性、多様性を実感できます。多様性とはコストの物指し以外に目標コストの設定、図面作成時のコストシミュレーション、割高・割安部品の判定、部品の共通化検討等に活用できることです。社内の多くの部署で活用できるコストテーブルを作れるようになります。

## 講師

渡邊 美稔氏 CVS

### 【略歴】

慶応義塾大学卒業後、いすゞ自動車株式会社入社。  
テアダウン、VE、DFA、コストテーブル等のツール開発、教育、海外を含めたグループ企業全体への実践展開に従事。GMグループDFA研究会委員等を経て同社を退職。現在、産業能率大学兼任講師、なべバリュクリニック代表。



## 開催概要

主催 公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会

日時 2019年10月16日(水) 10:00 ~ 17:00

会場 日本VE協会 大会議室(東京都世田谷区駒沢1-4-15真井ビル6階)

参加費 28,600円(会員:22,000円、VE有資格者:24,200円)

定員 30名

### 参加お申し込み について

◆申込書部分を記入のうえ、このチラシの裏面全体をFAXでお送りください。満席になり次第、受付を締め切りますので、お早めのお申し込みをお勧めいたします。

◆お申し込みのキャンセルは、開催日の3営業日前(土日祝日を除く)までをお願いします。2営業日前から前日までの場合は参加費の半額、当日の場合又は欠席の場合は参加費の全額をキャンセル料として申し受けますので、ご了承ください。

## 【申込先】

公益社団法人 **日本バリュー・エンジニアリング協会** 事務局

〒154-0012 東京都世田谷区駒沢1-4-15真井ビル6階

Tel:03-5430-4488 Fax:03-5430-4431 E-mail:suzuki@sjve.org

<https://www.sjve.org>

# コストテーブル作成・活用の体験セミナー

## プログラム

### 1. コストテーブルの概要

- 1) 背景と狙い      2) 種類と特徴

### 2. コストテーブルの作り方(講義とチーム演習)

### 3. コストテーブルの活用方法(講義とチーム演習)

### 4. コストテーブルの課題と今後

## アクセス



東急田園都市線

「駒沢大学」駅

駒沢公園口を出てすぐ左のビル6階

※急行は停まりません。各駅停車をご利用ください。  
※駐車場のご用意はありません。公共の交通機関をご利用ください。

ウェブサイトからもお申し込みいただけます。 ▶ <https://www.sjve.org>

コストテーブル作成・活用の体験セミナー 参加申込書 FAX 03-5430-4431

必要事項をご記入の上、このままFAXでお送りください。 ※お申し込み受付後、受付確認と参加票を電子メールで、請求書を郵便でお送りいたします。

区分	<input type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> 会員	<input type="checkbox"/> VE有資格者(CVS / VES / VEL)
貴社名			
ご氏名		所属・役職名	
E-mail		TEL	
所在地	〒		
備考欄			

※申込書にご記入の個人情報は、本会個人情報保護方針に記載の目的でのみ利用し、その他の目的では一切利用いたしません。  
また、本会個人情報保護方針にもとづき、適切に取扱いをいたします。